

★超音波研究会 (US)

専門委員長 近藤 淳 副委員長 竹内真一・三浦 光

幹事 土屋健伸・小山大介 幹事補佐 荒川元孝

日時 8月28日(水) 13:00~17:00

会場 東京工業大学蔵前会館ロイヤルブルーホール(目黒区大岡山2-12-1, 東急目黒線/大井町線:大岡山駅徒歩1分. <http://www.somuka.titech.ac.jp/ttf/access/index.html> TEL [03] 5734-3798 蜂屋弘之)

議題 水中音響, 一般

- GNSS-Aによって観測できるナノスケール海洋場の理論と実例
○横田裕輔(東大)・石川直史・渡邊俊一・中村優斗(海上保安庁)
- 音響マーカのRF信号の解析 ○佐藤智夫・片倉景義・松本さゆり(港空研)
- ドップラーシフトを利用したリモート水温計の提案 ○田中正吉・野村英之・鎌倉友男(電通大)
- 沿岸域の多経路伝搬音波の変動特性評価 蜂屋弘之(東工大)
- 有明海における浮泥層音響計測に向けた基礎的検討 ○小笠原英子・吉口将人・森 和義(防衛大)
- 日本海溝域における海底表層地震波速度の推定と海面低周波音源の定位に関する検討—S-net 観測点におけるエアガン受信波形の解析— 岩瀬良一(海洋研究開発機構)
- 高速水中音響通信の研究開発—Time ReversalによるMIMO通信の研究, しんかい6500搭載音響通信装置の開発— ○志村拓也・出口充康・樹田行弘・渡邊佳孝(海洋研究開発機構)
- 超音波曲面開口アレイを用いたフォーリエビームフォーミング—球面開口と円形開口の場合にエコー信号を直接に離散デカルト座標系にて生成— 炭 親良(上智大)
- DPLUS Based High-Frequency Ultrasonic Tweezers for Micro/Nano Manipulations
○Liu Qingyang・Chen Kang(Univ. of Tokyo)・Hu Junhui(NUAA)・Morita Takeshi(Univ. of Tokyo)

◆海洋音響学会, 日本音響学会; 超音波研究委員会, IEEE UFFC Society Japan Chapter 共催

◎懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆US研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月25日(水) 東北大〔締切済〕テーマ:一般

11月11日(月) 静岡大〔未定〕テーマ:一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

土屋健伸(神奈川大)

TEL [045] 481-5661 EXT3763

E-mail: kenshin@kanagawa-u.ac.jp

小山大介(同志社大)

TEL [0774] 65-6300

E-mail: dkoyama@mail.doshisha.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~us>